

特集 スマートフォンを子供に買い与えるとき、保護者が気を付けること

1. フィルタリング未設定によるリスク

子供にとって不適切な情報を制限する「フィルタリング」機能。フィルタリングは、子供に安心してインターネットやアプリを利用させるための、保護者の義務とも言えます。フィルタリングを設定することで、子供に振りかかる可能性のある、さまざまなトラブルを未然に防ぐことができます。

フィルタリングの設定で防げるトラブル事例

事例 a

見知らぬ人と会い、脅迫される

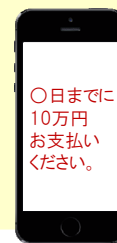
無料通話アプリやSNSなどを通して、見知らぬ人と会ってしまい、脅迫される。



事例 b

架空請求を受ける

不適切なサイトにアクセスしてしまい、軽い気持ちで会員登録。後日架空請求を受ける。



事例 c

不正アプリのインストールによる個人情報の漏えい

アプリの中には、悪意を持って作られたものが存在する。

個人情報



事例 d

スマートフォンの過剰利用による生活習慣の乱れ

無料通話アプリやゲームなどに没頭して、睡眠不足になることも。



フィルタリングは、Webサイトとアプリの両方を設定することで、リスクを減らすことができます。

Webアクセス制限

有害情報、危険性のあるWebサイトにアクセスさせない。

アプリ制限

対象年齢でないアプリ、危険性のあるアプリを入れさせない。

以下は、フィルタリングを設定することで不都合が生じると子供が思っている、主な誤解の例です。子供に正しく伝えて、フィルタリングの設定をしましょう。

インターネットで調べ学習ができなくなる

不適切なWebサイトが制限されます。信頼のおけるWebサイトでの情報収集ができ、調べ学習の質の向上につながります。

着信音などがダウンロードできなくなる

著作権違反のサービスは当然制限されます。著作権フリーのサービスは利用可能です。

お店のクーポンがダウンロードできなくなる

未成年向けでないなど、不適切なサービスのみ制限されます。ファーストフード店など、よく利用するお店は制限されません。

SNSでコミュニケーションが友人とできなくなる

特定のサービスサイトは、保護者がアクセス許可設定することで利用できます。

特集 スマートフォンを子供に買い与えるとき、保護者が気を付けること

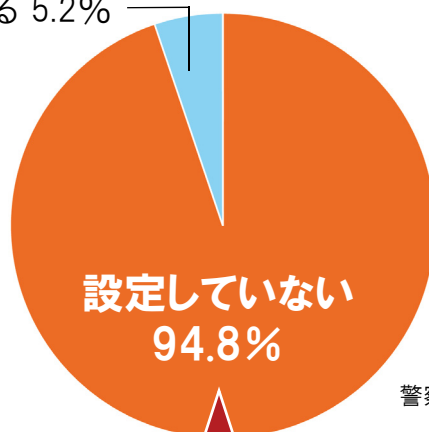
2. トラブルにあった子供のフィルタリング設定状況

無料通話アプリやSNSなどを使えば、見知らぬ人とでも簡単にコミュニケーションが取れるようになります。しかし、相手によっては悪意を持っている場合があり、深刻なトラブルにつながった事例が多数発生しています。たとえ「私の子供は大丈夫」と思っている場合でも、保護者は子供を守るために、フィルタリングの設定を必ず行いましょう。

トラブルにあった子供のフィルタリング設定状況

設定している 5.2%

平成25年度の上期と下期の調査結果の平均値を算出



警察庁「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果(平成25年下半年)」

**ネットトラブルにあった子供の約95%が、フィルタリング未設定。
子供が被害にあわないように、今すぐ設定！**

この調査対象は、コミュニティサイトでのやり取りがきっかけで、トラブルに巻き込まれた子供です。フィルタリングの設定をしていれば、被害を未然に防げた可能性があります。

保護者はフィルタリングの設定を、スマートフォンや携帯電話はもちろん、ネット接続できる携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどにも行いましょう。

フィルタリングの設定をすれば、子供が安心して端末を使えるようになります。

フィルタリングに関するWebサイト

保護者向け普及啓発用リーフレット(内閣府)

<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/keihatsu/260228/index.html>

フィルタリングサービスを利用しましょう！(安心ネットづくり促進協議会)

<http://sp.good-net.jp/filtering/>

フィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)をご存知ですか？(総務省)

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/filtering.html

3. スマートフォン購入前にチェック

スマートフォンには「利便性」と「リスク」という2つの側面があります。子供が安心してスマートフォンを利用できるよう、保護者として、以下の設問にチェック ☒ してみてください。



☐ スマートフォンの購入目的が明確である

どうしてスマートフォンを持ちたいのか、子供に聞きましょう。子供に目的を確認して利用範囲を話し合しましょう。

☐ 保護者自身がスマートフォンを操作できる。設定方法などに一般知識がある

セキュリティに関する設定が、自分のプライバシーを守ってくれることを伝え、設定方法を教えましょう。

☐ 保護者自身がスマートフォンの正しい扱いを態度で示せる

食事中や就寝前はスマートフォンを使わないなど、利用のマナーを、保護者が子供に態度で示しましょう。

☐ 情報モラルとフィルタリングの基礎知識がある

購入前に、携帯会社のフィルタリングに関するWebサイトを確認したり、情報モラル研修に参加したりして、情報収集をしておきましょう。

☐ 家庭内でスマートフォンの利用ルールを、子供と相談しながら決められる

利用ルールは、保護者の一方的な押し付けではなく、子供に考えさせ、一緒に話し合いルールを決めましょう。

☐ 家庭内で決めたルールを定期的に話し合い、見直せる

Webサイトやアプリの制限について、子供と相談して利用範囲の変更を検討していきましょう。保護者自身が新しい機能やサービスを知る機会、子供と対話するきっかけにもなります。